

JR東海労なごや

2012年 6月2日 No. 906
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：堀部 肇

議論なきまま突き進む 巨大プロジェクト、 「夢のリニア新幹線」は タブーだらけ！

5/24発売週刊プレイボーイより



徹底的な議論もされず「安全です」「問題なし」を繰り返すJR東海の企業体質は東電と何も変わらないと鋭く指摘！！

「リニア新幹線」は”第二の原発”か！？という見出しで5/24発売週刊プレイボーイ誌に4ページにわたり特集記事

が掲載されました。私たち東海労の役員もインタビューに答えています。興味のある方は一読をお勧めします。

マスコミあげてのリニア礼賛に一石を投じる

記事は「安全性」「環境問題」「経済性」「スピード」などあらゆる角度から見て冷静な議論を呼びかけています。昨年からはじめられているリニアに問題ありという声はほとんど報道されていません。むしろマスコミをはじめ社会全体があたかもリニアを待ち望んでいるような報道がされています。「マスコミの大スポンサーであるJR東海だから問題点は報道されない、図式は東電と同じ」という有識者の声を紹介しています。

勝手に進む計画

JR東海はリニア着工にむけた手続として、まず国が認可を出さなければなりません。そのためJR東海は国に「環境評価書」を提出し、その前段階として「環境影響評価方法書」を沿線住民に閲覧させなければなりません。これまで地域住民にむけ説明会が開催され、一般からもパブリックコメントとして意見集約がなされたところですが、大半が反対意見だといわれています。これらの疑問に対しJR東海は、「具体的な対策は2013年に示す。」と答えています。わずか一年足らずで何をどう説明するのでしょうか。記事は最後に、「検証や議論なき計画が重大事故につながった事例を昨年見た痛手もあじわっている。その過ちを二度と犯さないため国とJR東海には真摯な検証の実施を願うばかりだ。」(5/24プレイボーイ)と締めくくっています。